

蒲田駅周辺再編プロジェクト

蒲田駅西口駅前広場 初動期整備デザイン基本プラン

(素案)

目次

序章	はじめに	
	1. 西口駅前広場検討部会について	1
	(1) 設置の目的	
	(2) 初動期整備の範囲	
	(3) 構成員(平成26年度)	
	(4) 開催状況	
章	「蒲田駅周辺再編プロジェクト」における西口駅前広場初動期整備の整理	
	1. 駅前空間の将来像	2
	2. 駅前空間整備の進め方	2
	3. 西口駅前広場の初動期整備	2
章	蒲田駅西口地区のまちづくり	
	1. 西口駅前広場周辺の現況と課題	3
	(1) 現況の整理	
	2. 西口駅周辺の特徴を活かすまちづくり	4
	(1) 蒲田駅周辺の変遷	
	(2) 西口駅周辺の特徴とまちづくりの考え方	
	3. 蒲田駅西口地区のまちづくりの方向性	5
	(1) めざすまちの姿	
	(2) クオリティの高いまちを目指す取り組み	

章	西口駅前広場の整備	
	1. 整備の方向性	6
	(1) 西口駅前空間の将来像	
	(2) 整備内容	
	(3) 西口駅前広場デザインキーワード	
	(4) 初動期整備の内容整理	
	2. 景観要素別のデザイン方針	8
	(1) 舗装(材料・色調)について	
	(2) 植栽(ベンチ含む)について	
	(3) 照明について	
	(4) 案内誘導サインについて	
	3. スペース別の環境形成	15
	(1) 各スペースの環境形成の考え方	
	(2) 各スペースの整備概要	
	1) 広場 北側スペース 2) 広場 駅前スペース	
	3) 広場 南側スペース 4) 広場 西側交通島スペース	
	4. 西口駅前広場全体の整備イメージ	24

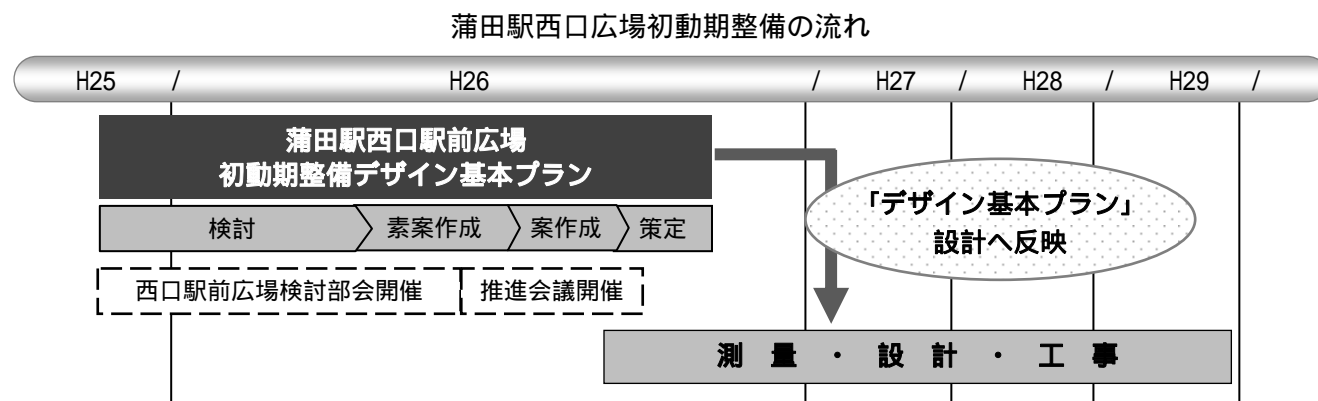
参考	資料編	
	1. 西口駅前広場周辺の現況	
	(1) 西口駅前広場の現況	
	(2) 公共交通(鉄道、バス、タクシー)について	
	(3) 駅ビル・駅周辺街区について	
	(4) 歩行者空間について	
	(5) 植栽について	
	(6) 案内板・モニュメント・記念樹について	
	(7) 街路灯について	
	(8) 道路(補助37号線、駅街路3号線)について	
	(9) 駅前広場周辺の利用規制について	
	2. 駅前整備の事例	
	(1) 武蔵小杉駅 (2) 吉祥寺駅 (3) 武蔵小金井駅	
	(4) 自由が丘駅 (5) 武蔵境駅 (6) 阿佐ヶ谷駅	
	(7) 二子玉川駅	
	3. 景観アドバイザーの意見集約	
	4. 西口駅前広場検討部会の意見集約(蒲田都市づくり推進会議)	
	5. その他	
	(1) シェルター設置範囲の概略検討	

序章 . はじめに

1 西口駅前広場検討部会について

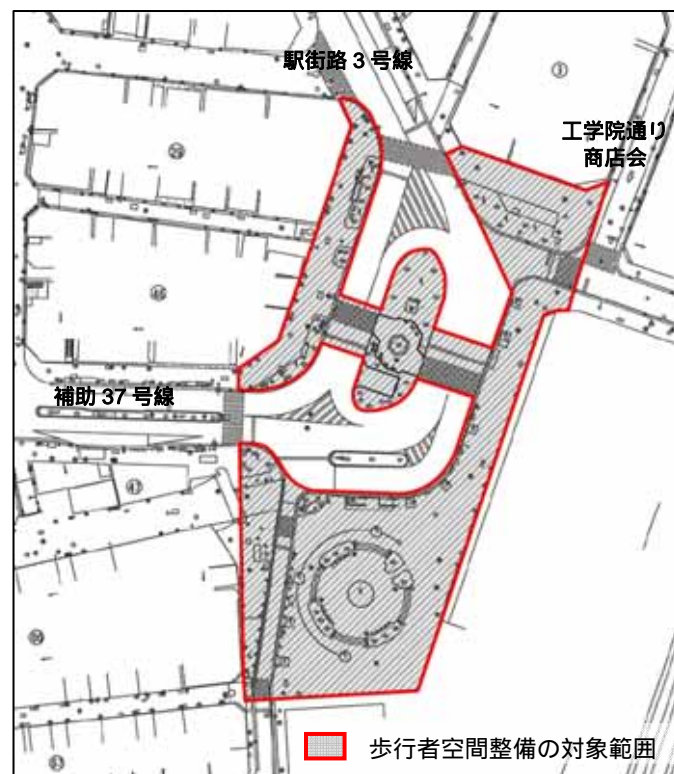
(1) 設置の目的

「蒲田駅周辺再編プロジェクト」では、蒲田駅周辺の現況と課題を抽出し、西口駅前広場の課題解決に向けた初動期整備について整理した。この度、蒲田都市づくり推進会議の下部組織として西口駅前広場検討部会を設置し、蒲田駅西口地区のまちづくりの方向性を整理した後、これを踏まえた西口駅前広場初動期整備におけるデザインコンセプトをまとめ、実施設計へ反映する「蒲田駅西口駅前広場初動期整備デザイン基本プラン」を策定する。



(2) 初動期整備の範囲

主に西口駅前広場の歩行者空間を対象とする。



(3) 構成員 (平成26年度)

職	所属及び氏名	
委員	蒲田西地区自治会連合会長	藏方 庸光
委員	西蒲田女塚町会長	大澤 麻純
委員	蒲田西口町会長	柳通 勝磨
委員	西蒲田七丁目御園町会長	吉川 武夫
委員	西蒲田八丁目町会長	浦辺 博
委員	蒲田西口商店街振興組合理事長	片山 薫榮
委員	蒲田西口クロス通り商店会長	紺野 博
委員	蒲田大好き委員会会長	望月 清志
委員	蒲田再開発推進委員会委員長	田中 常雅
委員	特定非営利活動法人 大身連	宮澤 勇
委員	大田区まちづくり推進部都市開発担当部長	齋藤 浩一
委員	大田区まちづくり推進部都市開発課長 (蒲田駅周辺地区整備担当課長兼務)	保下 誠
委員	大田区まちづくり推進部副参事(地域整備担当)	塩ノ谷 浩司
委員	大田区まちづくり推進部都市計画担当課長	西山 正人
委員	大田区都市基盤整備部都市基盤管理課長	明立 周二
委員	大田区都市基盤整備部建設工事課長	石井 一雄
委員	大田区都市基盤整備部蒲田まちなみ維持課長	久保 輝幸
委員	大田区蒲田西特別出張所長	山浦 賢一
事務局	大田区まちづくり推進部都市開発課地域整備担当	

(4) 開催状況

開催回	日付	検討内容
第1回	平成26年2月18日	・西口駅前広場初動期整備の概要 ・検討事項の説明
第2回	" 5月15日	・検討の進め方 ・西口駅前空間づくりの方向性 ・西口駅前広場整備の方針と整備イメージ
第3回	" 6月27日	・計画の前提確認 ・西口駅前広場の全体イメージなど(見本、事例等)
第4回	" 9月26日	・デザイン基本プラン(たたき台)について
第5回	" 12月19日	・デザイン基本プラン(案)の策定に向けた確認

章 「蒲田駅周辺再編プロジェクト」における西口駅前広場初動期整備の整理

1 駅前空間の将来像

環境にやさしく、快適で更なる活力を生み出す都市再生により
「人が集い・にぎわう、国際都市おおたの交通結節拠点・蒲田」

【西口駅前空間整備による将来目標】

歩行者環境の改善と商店街との一体的なにぎわいの創出

新空港線事業化を踏まえた交通機能の再配置による公共交通利便性の向上

2 駅前空間整備の進め方

駅前広場を中心とする都市基盤整備は、新空港線整備や駅舎・駅ビル、駅周辺街区の更新と連携しながら段階的に進めていく。

初動期整備（5年程度）

駅前空間再編の端緒となる公共空間を中心とした整備
再編プロジェクト策定から概ね5年以内に着手

【西口駅前空間整備】

- ・ 広場南側のフラット化と歩車道の段差解消
- ・ 広場北側歩道部の歩行者動線確保と歩車道の段差解消

中・長期整備（10・20年程度）

新空港線整備や駅ビル・駅前周辺街区の建替えなどと連携した検討・整備
初動期整備に引き続き、実現化条件が整ったものから順次着手

【西口駅前空間整備】

- ・ 初動期整備による歩行者動線・交通量、広場の活用状況や新空港線整備を踏まえて、駅ビル、駅周辺街区建替えと連携して交通結節機能を強化

3 西口駅前広場の初動期整備

喫緊の課題である歩行者環境を改善し、中・長期の端緒となる整備を行う。

広場北側

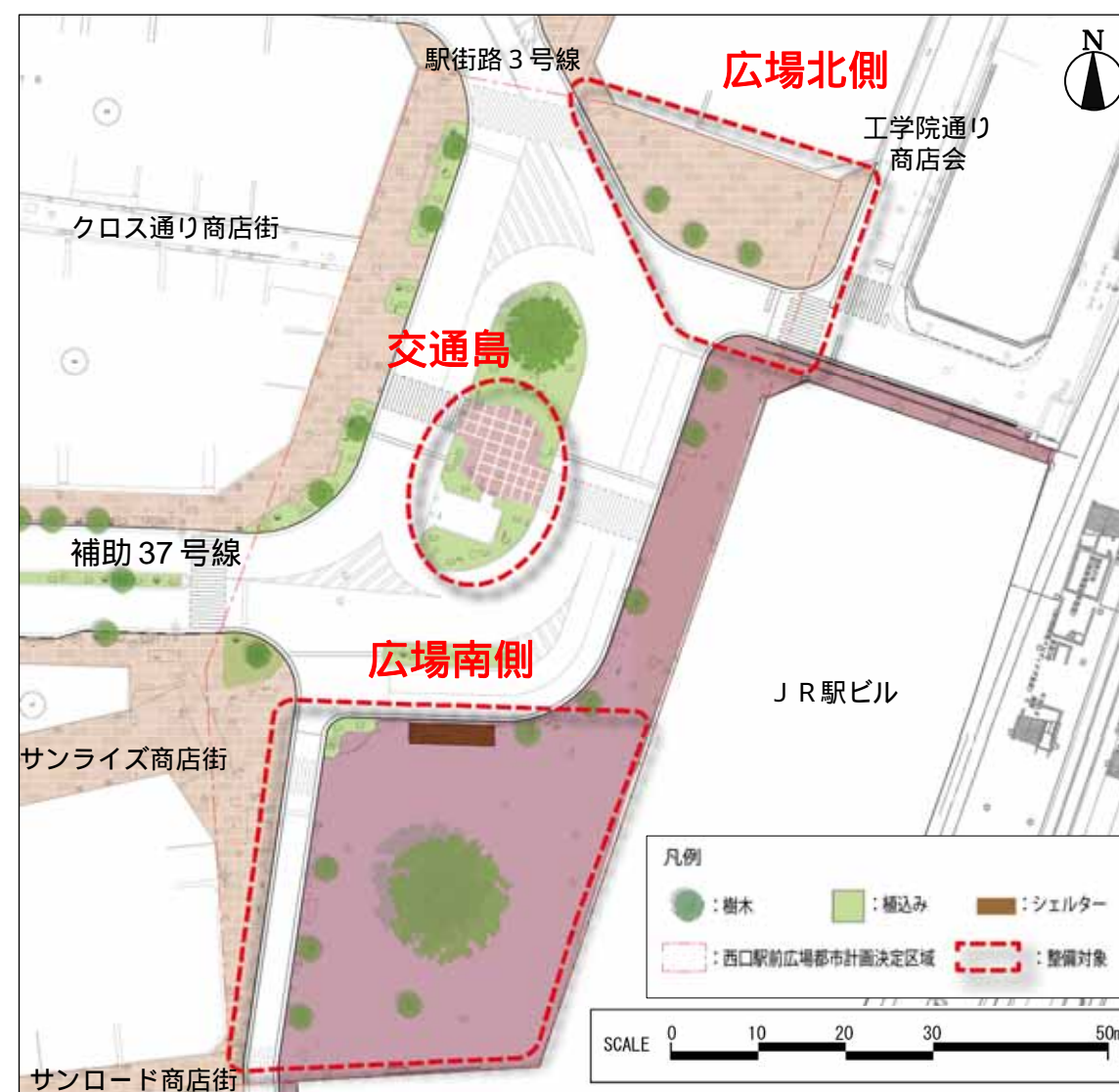
- ・ 歩道の植栽等の再配置によるバス降車場・駅間の歩行者動線の改善
- ・ 歩道と車道の段差解消によるオープンスペースと歩行者環境の改善

広場南側

- ・ 円形段差の撤去による歩行者動線の改善と活用しやすいオープンスペースの確保
- ・ 商店街前の歩道と車道の段差解消による歩行者環境の改善

交通島

- ・ 中央六角形植栽柵撤去と樹木の移植による歩行者動線の改善（蒲田都市づくり推進会議決定）



章 蒲田駅西口地区のまちづくり

1 西口駅前広場周辺の現況と課題

(1) 現況の整理

1) 西口駅前広場の現況

- ・西口駅前広場面積：約 5,400 m²
- ・駅前広場中央の交通島、南側に約 30m四方の歩行者広場
- ・駅前広場、まちの往来者：約 136,000 人/日、うち南方向が 45% (約 61,000 人)

2) 公共交通（鉄道、バス・タクシー乗降場）について

[鉄道]

平成 24 年蒲田駅周辺交通利用実態調査

- ・JR 京浜東北線、東急多摩川線・池上線の乗り入れ
- ・駅舎、駅ビル出入り歩行者：約 94,000 人/日
- ・一日の乗降客数 (2013 年度調べ)
JR 京浜東北線：279,456 人/日、東急多摩川線：88,102 人/日、池上線：69,464 人/日

[バス]

- ・東急バス乗車場は補助 37 号線に 3 カ所、降車場は駅街路 3 号線に 4 カ所
- ・バス利用者 (ピーク時) は 17 時台で乗車 約 300 人、降車 約 200 人

[タクシー]

- ・乗車場 1 カ所、滞留スペース 15 台程度
- ・タクシー利用者 (ピーク時) は 18 時台で乗車 約 120 人



3) 駅ビル・駅周辺街区建物について

- 統一感のない色調
- 大小様々な屋外広告物
- 不統一なスカイライン
- 店舗が連続する建物群
- 駅前広場とつながる商店街



46 番街区周辺



3 番街区周辺

4) 歩行者空間について

- 植栽、円形段差等の歩行者動線への影響
- 立て看板等の通行への妨げ
- 歩道と車道の段差
- ガムなどによる歩道の汚れ



3 番街区歩道



広場南側

5) 植栽について

- 一部の植栽が歩行者動線への影響
- 統一感やデザイン性が感じられない配置
- シンボルとしての高木



交通島



広場南側のくすの木

6) 案内板・モニュメント・記念樹について

- 分かりにくい案内板の表示・位置
- 禁止看板が乱立
- 蒲田のまちや施設紹介の案内板が不足
- 多言語対応がされていない



駅前スペース



西側スペース



南側スペース

7) 街路灯について

- 統一されていない街路灯 (デザイン、形状)
- 歩行者の移動のための照明設備



駅前スペース



西側スペース

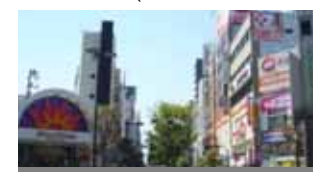


南側スペース

8) 道路 (補助 37 号線、駅街路 3 号線) について

[補助 37 号線]

- 幅員 20m の都市計画道路に指定
- 景観計画で「シンボル道路」に位置付け
- バス乗車場がわかりにくい
- 狭い歩道 (バス乗車場付近)



駅前広場から補助 37 号線を見る

[駅街路 3 号線]

- 幅員 18m の都市計画道路に指定
- 車道を歩行者が横断
- 緑が少ない
- バス降車場からの歩行者動線



駅前広場から駅街路 3 号線をみる

2 西口駅周辺の特徴を活かすまちづくり

(1) 蒲田駅周辺の変遷

(2) 西口駅周辺の特徴とまちづくりの考え方

明治・大正・昭和初期

交通

蒲田駅開設
池上線開通
目蒲線開通

蒲田モダン

黒澤タイプライター
大倉陶園
各務クリスタル

東口

・松竹キネマ蒲田撮影所
・高砂香料蒲田工場
・新潟鉄工所



黒澤商店蒲田工場 黒澤村
(出典:かまた散歩 大田観光協会)



大倉陶園工場

(出典:蒲田モダン 大田観光協会)

太平洋戦争
(蒲田地区の多くが焼失)

企業

富士通ソリューションズ
ユザワヤ
株式会社ナムコ

学校

日本電子工学院
東京工科大学

商業

サンロード商店街
サンライズ商店街
クロス通り商店会
工学院通り商店会
グランデュオ
蒲田東急プラザ

交通

羽田空港再国際化

昭和戦後・平成

駅前広場のオープンスペース

駅前広場南側のオープンスペースは、主に滞留空間として使われ、歩行者の通行動線への影響やイベントでも使いづらい形状となっており、有効利用ができる整備が求められる。

回遊動線・イベント・憩い空間づくり

駅前広場再整備による周辺商店街へ回遊する動線、にぎわいを創出するイベント広場、ゆっくりつるげる憩い空間として駅前広場を最大限に活用



イベント活用状況(一例)

- 4月: 蒲田行進曲フェスタ絆
- 5月: フラワーカーニバル
- 6月: 音楽の祭日
- 10月: 友好都市ふれあい広場
- 10月: ハロウィン
- 12月: クリスマスコンサート

東急多摩川線・池上線の起点駅

西口は東急蒲田駅につながっており、1日15万人の乗降がある東急線の起点駅としての立地を活かした取り組みや将来の新空港線整備を踏まえ、JRの乗り換え客が立ち寄り、沿線住民が訪れるまちづくりを進めることが求められる。

東急沿線の人々が訪れる魅力づくり

駅前広場の整備を契機に、オープンスペースでのにぎわいづくりや商店街の魅力づくり・情報発信などの取り組みで多くの人々が訪れるまち



駅周辺の商店街

駅前広場からつながるサンライズ・サンロード・クロス通り・工学院通り商店会があるが、こうした商店街を活かし、面的なにぎわいを創り出すことが求められる。

多くの人々が回遊する商店街づくり

それぞれの商店街の特徴を活かした魅力づくりによる駅・駅前広場、駅前周辺が一体となった連続したにぎわいある駅前空間



東京工科大学・日本工学院

既存の工學院のほか、新たに大学が開設し、多くの学生が通学しており、こうした若者が集いにぎわうまちづくりを進め、更には、将来の蒲田を担う人材として定着させていくことが求められる。

学生でにぎわうまちづくり

学生が参加できるイベントの開催や若者をターゲットにした商業展開などで、学生や若者も地域活性に寄与できるまち



3 蒲田駅西口地区のまちづくりの方向性

(1) めざすまちの姿

駅前イメージ
【クオリティの高いまち・蒲田】

1) にぎわいのあるまち

- ・商店街などの活気が街中にあふれ、学生や若者も含めた幅広い年齢層の人々が行き交い交流する、にぎわいあるまち
- ・商店街の魅力づくり・情報発信により多くの人が訪れるまち

2) 清潔感のあるまち

- ・路上のごみの放置やポイ捨てがなく、サインや看板、設備機器などの清掃、維持管理が行き届いた、清潔感が感じ取れるまち

3) 個性が感じられるまち

- ・商店街のにぎわい、アーケードや大学など西口周辺の様々な個性が感じられ、回遊したくなるまち
- ・東急線の起点駅としての立地を活かした取り組みや将来の新空港線整備を踏まえ、鉄道の乗り換え客が立ち寄るなど、沿線住民が訪れるまち
- ・羽田空港と隣接する立地を活かして東口と一体的に取り組む、来街者が過ごしやすいおもてなしのまち
- ・「蒲田モダン」や周辺企業の変遷などを素材とした、歴史・ものづくりの発信ができるまち

4) 安心・やすらぎのあるまち

- ・緑の潤いや魅力的な街並みが続くまち
- ・だれもが利用しやすい「ユニバーサルデザイン」のまち
- ・災害に強く、安全・安心なまち
- ・地球環境にやさしいまち

(2) クオリティの高いまちを目指す取り組み

1. 基盤施設の整備

- ・西口駅前広場の再整備
- ・蒲田駅東西自由通路の整備
- ・回遊軸となる道路の歩行者環境整備

2. 周辺建物の更新

- ・老朽建物の建替え、共同化による耐震化、環境負荷軽減の促進
- ・街並みづくりのための建物デザインや広告物設置などのルールづくり

3. 商店街のさらなる活性化

- ・駅前広場を活用した商店街・地域イベントの開催や、情報発信の強化
- ・商店街の魅力向上に向けた建物、屋外広告物、サインなどのルールづくり
- ・幅広い年齢層のニーズを取り込むための空き店舗の活用

4. 清潔なまちの維持

- ・啓発活動の実施によるモラル・マナーの向上
- ・地域・行政等の連携による環境美化活動の促進
- ・「清潔で美しい大田区をつくる条例」の強化

5. 放置自転車対策

- ・放置自転車撤去の徹底
- ・小規模自転車駐車場整備の促進
- ・啓発活動の実施によるモラル・マナーの向上

章 . 西口駅前広場の整備

1 整備の方向性

前章「クオリティの高いまちをめざす取り組み、基盤施設整備（西口駅前広場の再整備）」の西口駅前広場初動期整備設計に向けた具体的整備内容とデザインコンセプト、イメージ等について整理する。

(1) 西口駅前空間の将来像

駅とまちのにぎわいを紡ぐ、人と環境にやさしい駅前広場

(2) 整備内容

「にぎわい」「清潔感」「個性」「安心・やすらぎ」のキーワードを踏まえて整理する。

オープンスペースの確保

ゆとりのある歩行者空間をイベント・交流の場、待ち合わせ・休息の場、発災時の避難の場として整備する。

歩行者空間のフラット化・動線改善、歩車道段差解消

歩行者動線に合わせた通行スペースや、だれもが円滑に移動できる歩行者空間を確保するとともに、回遊性の向上も考慮した整備を行う。

植栽の再配置

既存の高木を活かし、歩行者動線や広場の利用、都市環境に配慮した潤い・やすらぎのある駅前広場を演出するとともに、緑陰にベンチを設置し休息の場を確保する整備を行う。

街路灯の設置

統一感ある街路灯や駅前広場を演出する照明灯を設置する。

サインのリニューアル

既存のサインを見直し、必要な情報を必要な場所にわかりやすい案内表示を設置する。

付属施設等

モニュメント等は、全体イメージや使われ方等を考慮して設置するとともに、地球環境にやさしい省エネルギー化のための設備等を導入する。

(3) 西口駅前広場デザインキーワード

広場全体の印象を「広場的」「暖かみ」「明るさ」「落ち着き・風格」のあるものとし、これらをデザインキーワードとして、舗装、植栽、照明などの個別検討を行う。



全体イメージ 参考事例

暖かみ、風格



新橋駅

暖かみ、落ち着き



武蔵小杉駅

広場的、明るさ、落ち着き



有楽町駅

広場的、風格、明るさ



横浜市 開港広場

その他のストリートファニチャー例

【街路灯デザイン】



【ベンチ】・金属などの材質



【モニュメント・デザイン】 蒲田らしさを活かしたデザイン



江戸切子デザイン

(引用：国土交通省観光庁サイトより)

(4) 初動期整備の内容整理

初動期整備で対象とする基盤施設の整備内容を以下に整理する。

西口駅前広場 現況



西口駅前広場 初動期整備



2 景観要素別のデザイン方針

(1) 舗装(材料・色調)について

全体方針

周辺建物や屋外広告物の色調と競合せず、安全性、環境・機能性、維持管理に優れた材料による舗装

整備方針

- 歩きやすく滑りにくく、車椅子などの走行振動が軽減
- 汚れが目立ちにくい色調
- 環境に配慮した透水性のある材料の選定
- 補修しやすい材料の選定

舗装材料の選定

下記総合評価及び施工実績等により、コンクリートブロック(研磨平板)を基本にデザインを検討する。

コンクリートブロック舗装の種類と特徴の整理

種別	イメージ (色についてはあくまでも参考です)	特徴	総合 評価
研磨平板 ・ 天然石骨材研 磨加工仕上げ		自然色調、カラーバリエーションが豊富である ○目地が少なく歩行性に優れている ○研磨仕上げにより色あせしにくく、 汚れにくい 施工実績が多い	
バリアフリー ペイプ		○目地部分の凹凸や施工後の段差をなくし、均一の振動により快適な歩行や走行ができる 自然骨材ではないため、単色になる。(複数色の組み合わせでデザインを表現)	
洗出し平板		○自然で明るい仕上げになる。色あせしにくい 砂利のような仕上がりでガムなどのゴミが取りにくい	
インター ロッキング		波型や摩擦抵抗を高めるためサイズの小さいものが主流 景観性には劣るが安価 経年変化後に凹凸や段差が発生する可能性がある	

色調

- 全体方針である周辺建物や屋外広告物の色調と競合しない色調とする。
- 西口駅前広場のデザインキーワードである「広場的」「暖かみ」「明るさ」「落ち着き・風格」に合わせた、暖色系、無彩色系及び併用による組合せパターンを検討する。
なお、誘導ブロックを配置する際には定められた一定の輝度比を確保する。

舗装デザイン

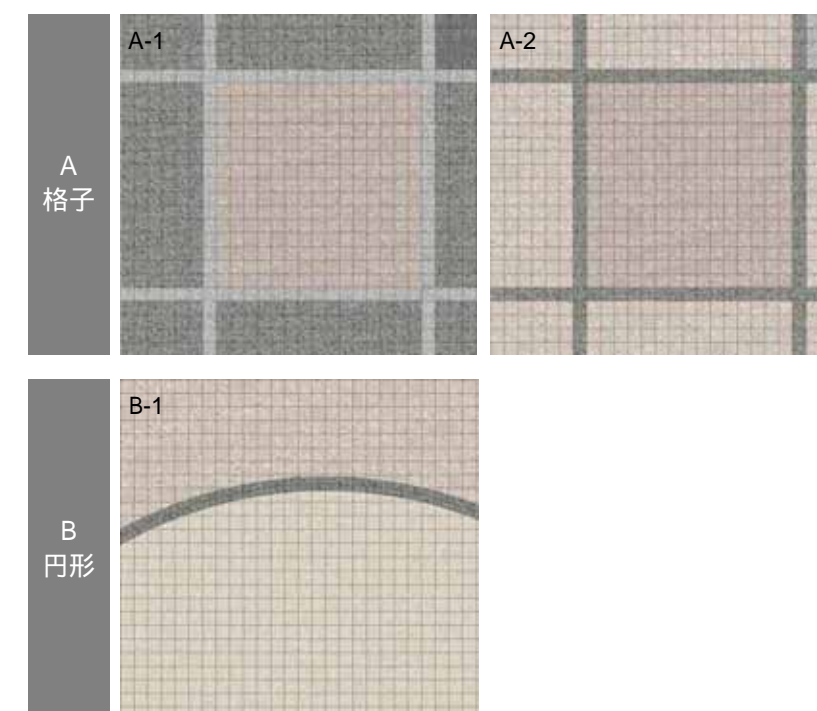
- 暖色系、無彩色系及び併用による舗装デザイン例を以降に示す。

【デザインの考え方】

- 広場南側および広場北側のシンボルツリーを中心にしたデザインとする
例) A: シンボルツリーの下に溜まり空間を表現した格子のデザイン
B: シンボルツリーからの広がりを表現した円形のデザイン
- 1)のデザインに基づき、無彩色系、暖色系、暖色と無彩色の併用の組合せ
- 誰にでも使いやすい、移動しやすい広場にするため、視覚障害者に配慮した方向性を認識しやすい舗装デザインとする

具体のデザイン検討については今後の基本設計・実施設計で具体化していく。

【舗装デザイン例(抜粋)】



この図はイメージ図の為、実際と異なる場合があります。

西口駅前広場舗装全体イメージ

A-1：格子のデザイン × 暖色と無彩色の併用

デザイン キーワード	暖かみ	明るさ	落ち着き・風格



この図はイメージ図の為、実際と異なる場合があります。

A-2：格子のデザイン × 暖色と無彩色の併用

デザイン キーワード	暖かみ	明るさ	落ち着き・風格



この図はイメージ図の為、実際と異なる場合があります。

B-1：円形のデザイン × 暖色と無彩色の併用

デザイン キーワード	暖かみ	明るさ	落ち着き・風格



この図はイメージ図の為、実際と異なる場合があります。

2 景観要素別のデザイン方針

(2) 植栽(ベンチ含む)について

全体方針

歩行者環境の改善、緑のうるおいの創出、周辺建物や広告物へ配慮した植栽配置と緑陰空間の確保

緑陰を活用したベンチ配置と短時間利用に対応したベンチ形状の採用

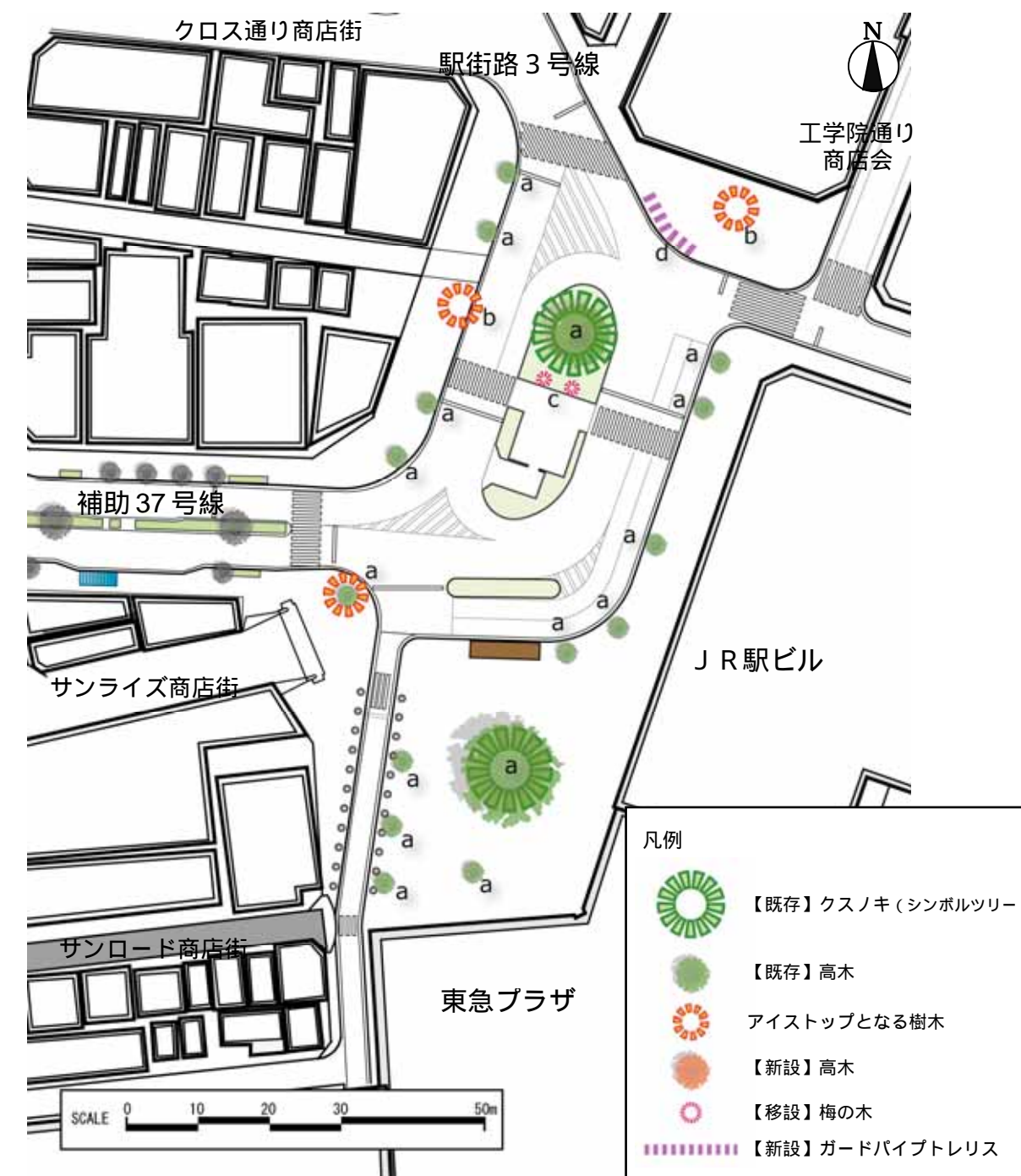
整備方針

- 既存の高木等の活用(歩行者動線への影響範囲は調整)
- 低木(植え込み)の廃止によるゴミ捨て等の抑止
- 安全な歩行者動線と滞留空間における緑陰の確保
- アイストップ(人の注意を引く)となる植樹
- シンボルツリー下の腰掛けの設置
- 一時休息できるベンチを動線などに影響しない箇所に設置

既存樹木とベンチのイメージ

No.	名称	樹種名・特徴	写真・イメージ
a (既設)	シンボルツリー・既存の高木	クスノキ 大田区の木。他の常緑樹に比べて葉色が明るく、華やか。	 [既存] 広場南側 [既存] 広場南側 [既存] 広場西側 [既存] 駅ビル前
b (新設)	アイストップとなる樹木		 エンジュ オリーブ ハナミズキ ヒトツバタゴ モクレン
c (移設)	記念樹	ウメ 大田区の花。	 [既存] 交通島内の梅の木
d (新設)		ガードパイプトレリス 横断防護柵を活用し、つる植物などを這わせた緑化	

植栽配置の考え方



緑陰を活用したベンチ配置



低木(植え込み)の廃止への対応



2 景観要素別のデザイン方針

(3) 照明について

全体方針

歩行者動線に合わせた街路灯設置と、空間を演出する照明の組合せによる駅前広場の魅力向上

整備方針

- 歩行者動線の基準照度の確保
- 歩行者動線に合わせた統一的な街路灯の設置
- スペース別の空間に合わせた演出照明の設置
- LED 照明の導入と発災時に対応可能な自然エネルギーの活用

照明イメージ

【街路灯設置の前提条件】

- ・街並みに調和するベーシックなデザイン
- ・明るさを確保しながらも優れた省エネ性能
- ・高さは3.5m~4m、色はウォームグレーとする

歩行者動線に合わせた統一的な街路灯の設置



スペース別の空間に合わせた演出照明の設置



自然エネルギーを活用した照明



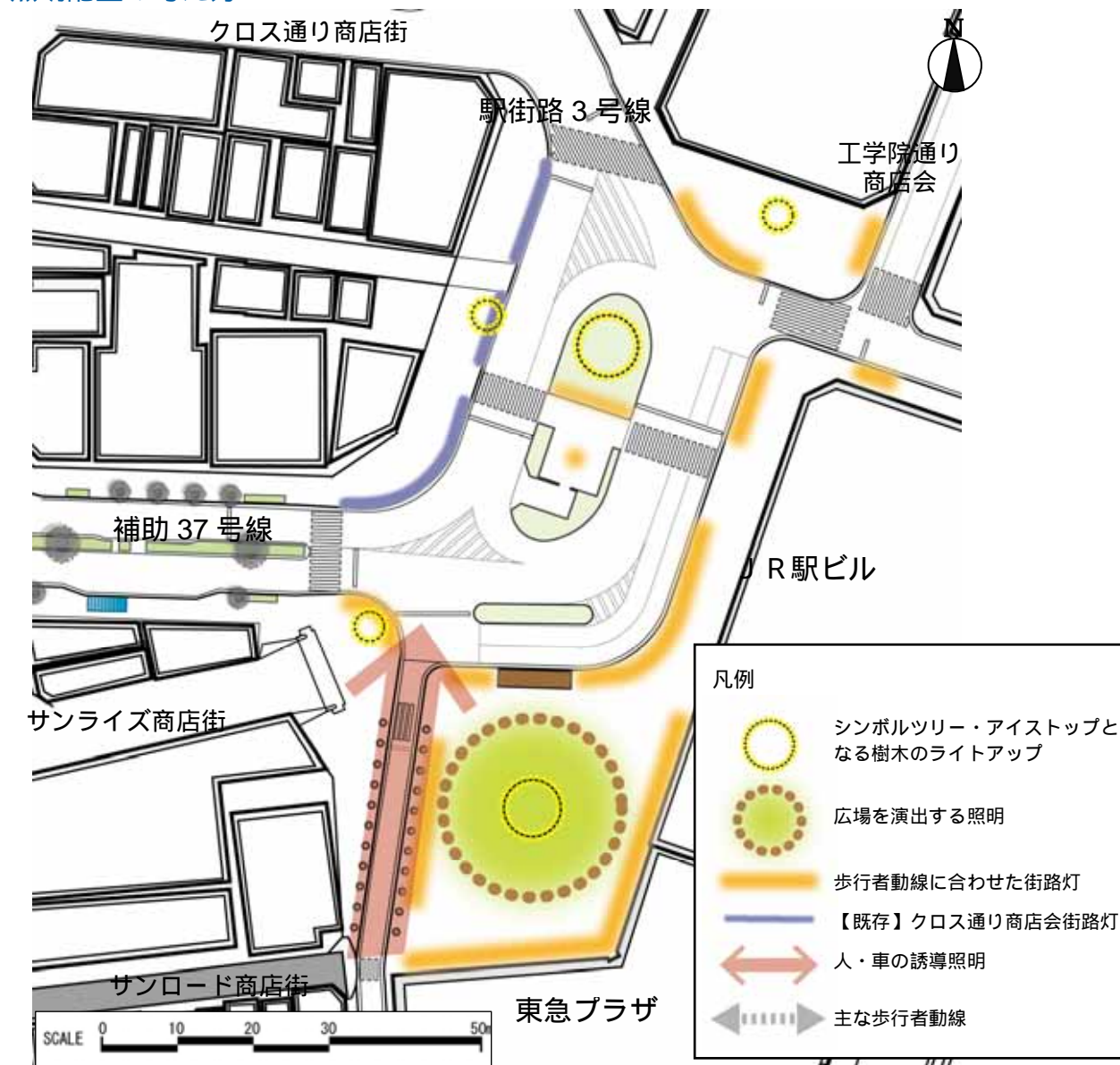
人と車の誘導照明



【既存】クロス通り商店街街路灯



照明配置の考え方



2 景観要素別のデザイン方針

(4) 案内誘導サインについて

全体方針

来街者への分かりやすい情報提供、駅前広場の景観に配慮したサインのデザインと配置

整備方針

- 効果的な位置に整然とした案内板の設置
- 絵、写真、記号などの活用や多言語に対応した表示
- 視認性や誘導性を高める統一性のある表示・デザイン
- 床の舗装部へのペイントは廃止
- 禁止注意サインは最小限に設置

提供情報の選定とサインイメージ

地図情報

- ・広域案内、駅周辺
(広域避難場所・駐輪場など)

広域案内



駅周辺案内



バス乗り場



バス路線図



交通施設案内

- ・路線図、バス乗り場、(発車時間)

施設誘導

- ・大田区民センター
- ・大田都税事務所
- ・蒲田西特別出張所
- ・公衆便所(・公衆電話)

施設誘導の案内



通り名

- ・駅街路3号線
- ・補助37号線

地域情報



歴史紹介



掲示板

- ・地域情報

解説板

- ・歴史紹介、環境配慮への取り組み

放置自転車禁止区域・保管所の案内



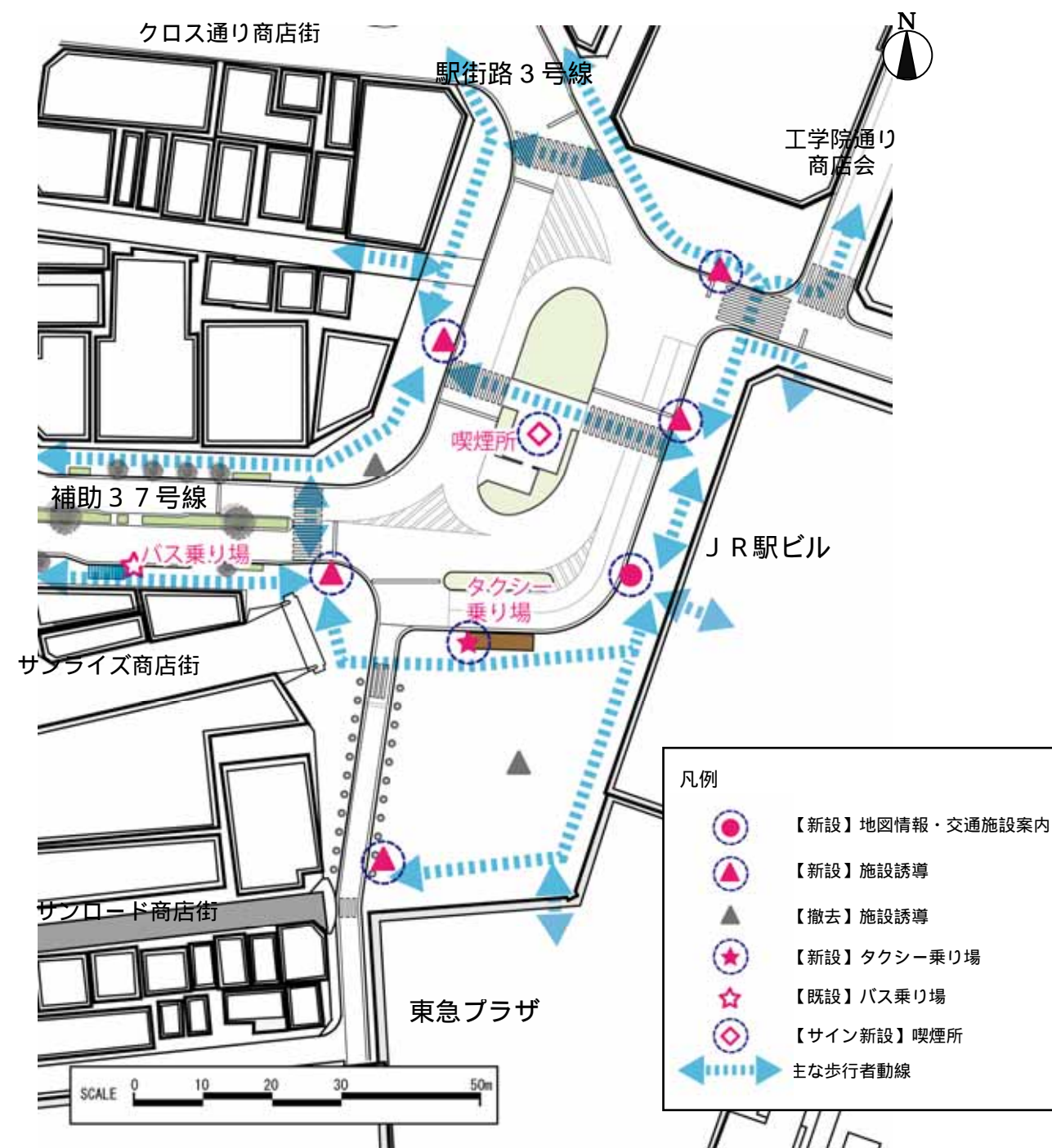
路上禁煙地区の案内



禁止・注意

- ・放置自転車への対応
- ・環境維持(ごみ・たばこ)

案内誘導サイン配置の考え方



デザインの考え方

- ・具体的なデザインについては、別途検討を行う。
- ・子ども、高齢者、外国人にも分かりやすいユニバーサルデザインとする。
- ・既設の大田区庁舎内のサインのデザインを継承し、整合を図り分かりやすいものとする。

3 スペース別の環境形成

西口駅前広場を箇所別に分け、デザイン方針に基づき、スペース毎の駅前広場機能や回遊性の向上も考慮した環境形成について整理する。

(1) 各スペースの環境形成の考え方

広場 北側スペース

駅とバス降車場方向（駅街路3号線）や大学・専門学校方向を円滑に結ぶ歩行者空間づくり

適切な植栽配置による駅ビルとバス降車場方面、大学・専門学校方面を円滑に結ぶ歩行者空間の確保
アイストップとなる樹木の配置によるまとまったオープンスペースの確保

広場 駅前スペース

来街者への適切な情報提供等による駅出入口に集散する歩行者を円滑に処理する結節空間づくり

統一的なサインや駅出入口と合わせた適切な場所への設置による来街者の目的地への誘導
歩行者を安全に誘導する街路灯の設置や、南北方向を結ぶ十分な歩行者空間の確保

広場 南側スペース

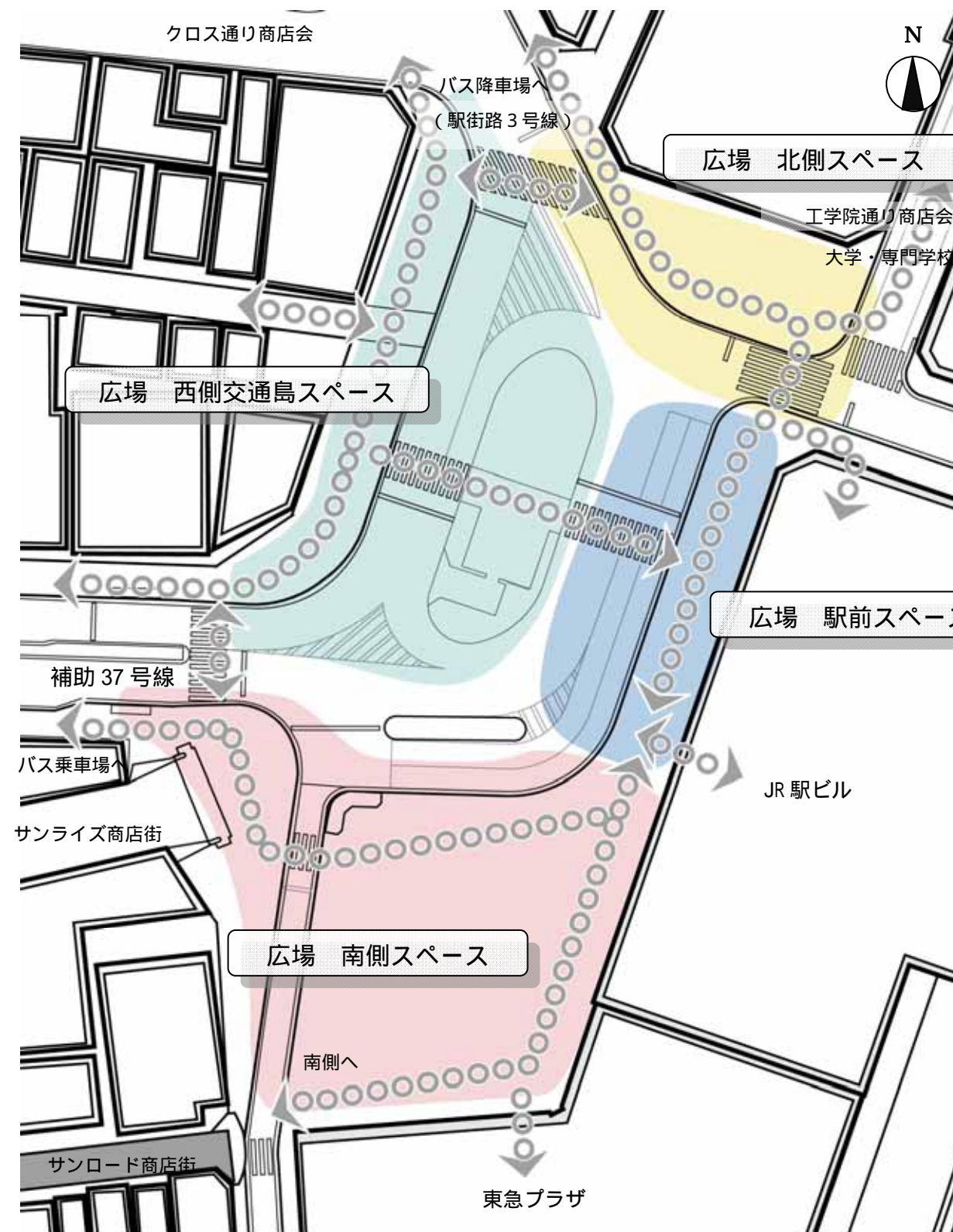
にぎわいや憩いを感じ、駅ビルから商店街へ円滑に結ぶ歩行者空間づくり

植栽帯の再配置や歩車道の段差解消による商店街やまちを円滑に結ぶ歩行者空間の改善
円形段差のフラット化によるオープンスペースの確保
憩いの場としてのシンボルツリーの配置

広場 西側交通島スペース

駅前広場の安全な横断と商店街をつなぐ歩行者空間づくり

植栽柵の撤去と樹木の移植、横断歩道の直線化による交通島歩行者動線の改善
アイストップとなる樹木の配置、分かりやすいサイン設置



3 スペース別の環境形成

(2) 各スペースの整備概要

1) 広場 北側スペース 駅とバス降車場方向(駅街路3号線)や大学・専門学校方向を円滑に結ぶ歩行者空間づくり

基盤施設の整備概要

バス降車場方面及び工学院通り商店会方面の歩行者状況を考慮し、駅側歩道と北側歩道をつなぐ横断歩道の幅員を拡幅する。

バス降車場～駅ビルへの歩行者の誘導動線を確保するため植栽帯を撤去し、ガードパイプを設置する。

滞留空間として、フラットなオープンスペースを確保する。

歩行者動線に合わせた歩行者用街路灯



ガードパイプを活用した緑化 (ガードパイプトレリス)



アイストップとなる樹木を中心とした広場を示す舗装デザイン

施設誘導サインの設置



※サインは現在検討中です。計画策定までには画像を差し替えます。

横断歩道付近を照らす歩行者兼自動車用街路灯



オープンスペースにアイストップとなる植栽を配置し、緑陰を活かしたベンチの設置



アイストップとなる樹木の演出照明の設置



基盤施設の整備箇所

<植栽>
樹木 (新設)

<照明>
アイストップとなる樹木の演出照明

歩行者用街路灯

歩行者兼自動車用照明

主な歩行者動線

<案内誘導サイン>
施設誘導サイン

<その他>
横断防止柵

現況以外の写真はイメージです。

計画：植栽帯の撤去・横断歩道の幅員拡幅



駅街路3号線方面を見る

計画：オープンスペースの確保による歩行者動線の改善



3番街区前を見る

※VRの内容は現在検討中の案であり、あくまでもイメージです。
詳細については、今後具体化に伴い変更になります。

3 スペース別の環境形成

(2) 各スペースの整備概要

2) 広場 駅前スペース 来街者への適切な情報提供による駅出入口に集散する歩行者を円滑に処理する結節空間づくり

基盤施設の整備概要
スムーズな歩行者動線を確保するため、横断歩道を直線化する。



- 基盤施設の整備箇所
- <植栽> 樹木 (既存)
- <照明> 歩行者用街路灯
- 主な歩行者動線
- <案内誘導サイン> 地図情報・交通施設サイン
- 施設誘導サイン
- <その他> 横断防止柵

現況以外の写真はイメージです。

計画：横断歩道の直線化による歩行者動線の改善



駅側から交通島を見る

計画：駅周辺のサインの設置



駅前の歩行者空間を見る

※VRの内容は現在検討中の案であり、あくまでもイメージです。
詳細については、今後具体化に伴い変更になります。

3 スペース別の環境形成

(2) 各スペースの整備概要

3) 広場 南側スペース **にぎわいや憩いを感じ、駅ビルから商店街へ円滑に結ぶ歩行者空間づくり**

基盤施設の整備概要

歩行者動線の改善と活用しやすいオープンスペースを確保するため、円形段差を撤去する。

歩行者動線をバリアフリー化するため、歩車道の段差を解消し、乱横断を防ぐボラードを設置する。

自然エネルギーを活用した非常用照明・電源の確保



イベント開催時に埋没可能なボラードの設置

[ボラードデザインの考え方]
 ・街並みと調和するベーシックなデザイン
 ・ウォームグレー、高さ80～90cm



歩行者動線に合わせた歩行者用街路灯



シンボルツリーを中心とした広場を示す舗装デザイン

シンボルツリーの緑陰を活用したベンチ(短時間利用を想定)を設置



シンボルツリーの演出照明の設置



- 基盤施設の整備箇所
- <植栽> 樹木(既存)
- 植込み(既存)
- <照明> シンボルツリーの演出照明
- 歩行者用街路灯
- ⊙ 歩行者兼自動車用照明
- ⬅️➡️ 主な歩行者動線
- ★ <案内誘導サイン> タクシー乗り場サイン
- <その他> シェルター(既存)
- ボラード
- 横断防止柵

横断歩道付近を照らす歩行者兼自動車用街路灯



現況以外の写真はイメージです。

計画：円形段差の解消・オープンスペースの確保による歩行者動線の改善



広場南側を見る

計画：歩車道の段差解消



商店街側から駅前広場を見る

※VRの内容は現在検討中の案であり、あくまでもイメージです。
詳細については、今後具体化に伴い変更になります。

3 スペース別の環境形成

(2) 各スペースの整備概要

4) 広場 西側交通島スペース 駅前広場の安全な横断と商店街をつなぐ歩行者空間づくり

基盤施設の整備概要

直線的な歩行者動線を確保するため、交通島中央の植栽柵を撤去し、喫煙所の再整備をする。



現況以外の写真はイメージです。

計画：中木の移植・植栽柵の撤去・喫煙所の再整備



西側から交通島を見る

計画：低木（植え込み）の廃止



広場西側を見る

※VRの内容は現在検討中の案であり、あくまでもイメージです。
詳細については、今後具体化に伴い変更になります。

4 西口駅前広場全体の整備イメージ



※VRの内容は現在検討中の案であり、あくまでもイメージです。
 詳細については、今後具体化に伴い変更になります。